

# 平成29年10月定例会会議録

(平成29年10月31日)

八代市教育委員会

## 八代市教育委員会 10月定例会会議録

【開催日】 平成29年10月31日（火）

【場所】 八代市千丁支所2階 庁議室

【出席者】 北岡 博 教育長  
小嶋 ひろみ 教育委員  
倉野 敏郎 教育委員  
松永 松喜 教育委員

【出席職員】 釜 道治 教育部長  
桑田 謙治 教育部次長  
中 勇二 教育部政策調整審議員  
宮田 径 教育部理事兼教育政策課長  
渡邊 裕一 教育部首席審議員兼学校教育課長  
有馬 健一 教育部理事兼教育施設課長  
廣兼 和久 生涯学習課長  
高嶋 宏幸 教育サポートセンター所長  
福原 透 博物館未来の森ミュージアム副館長

【事務局】 岩崎 伸一 教育政策課課長補佐兼教育政策係長  
西村 妙子 教育政策課主任

### 【審議事項】

#### <議案案件>

- ①八市教委議第28号 八代市就学援助要綱の一部改正について
- ②八市教委議第29号 平成29年度教育に関する事務執行状況の点検・評価報告書について

#### <報告案件>

- ①報告第15号 八代市議会平成29年9月定例会について
- ②報告第16号 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

（午前9時56分開会）

## 【発言要旨】

北岡教育長

### 2. 教育長報告

前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

- 9月16日 第三中学校運動会
- 9月19日 学校訪問（宮地小・第八中）
- 9月20日 学校訪問（八千把小）
- 9月21日 陸上中学校体育大会、秋の交通安全出発式
- 9月25日 八代っ子クラブ説明会
- 9月26日 市議会9月定例会開会
- 9月30日 八美展表彰式
- 10月1日 文政小運動会
- 10月3日 洋式トイレ贈呈式（日奈久小）
- 10月7日 八代地区科学発明展
- 10月11日 九州都市教育長協議会理事会、意見交換会、情報交換会
- 10月12日 九州都市教育長協議会定期総会、研究大会
- 10月13日 九州都市教育長協議会文教施設視察
- 10月14日 代陽校区体育協会文部科学省生涯スポーツ優良団体受章祝賀会
- 10月16日 八代市中学生音楽教室
- 10月17日 熊本県市町村教育委員会代表者会議
- 10月18日 学校訪問C（太田郷幼稚園）
- 10月19日 中学校体育連盟駅伝競走大会
- 10月20日 市議会9月定例会閉会、秋季特別展覧会開会式（高浪委員）
- 10月21日 全国花火競技大会・表彰式
- 10月23日 校長期末面談
- 10月24日 教育委員会臨時会
- 10月25日 学校訪問（鏡中）
- 10月26日 第四中学校健康教育研究推進校研究発表会
- 10月27日 南部ブロック解放高校生交流集会実行委員会学習会
- 10月28日 八代市防災訓練（雨天中止）、八代市文化祭式典
- 10月30日 決算審査（文教福祉委員会）

### 3. 議題

〈八市教委議第28号 八代市就学援助要綱の一部改正について〉

渡邊教育部首席審  
議員兼学校教育課  
長

文部科学省が定める補助金の予算単価に準じて就学援助の支給額を定めることを規定するため、八代市就学援助要綱を改正するもの。

【議案第28号 承認】

〈報告第15号 八代市議会平成29年9月定例会について〉

釜教育部長

市長選挙後初の一般質問だったため市長の選挙公約について教育委員会の考え方を尋ねるものがほとんどだった。

市長公約に掲げてある学校・幼稚園のエアコン設置については、早期に事業計画を立案し、関係部署との調整を行い実現に向け取り組みを進める方針であること、また、英語教育の推進については、平成30年度から具体的な取り組みを始める方針であると答弁した。

その他図書館における指定管理者の管理運営状況に対する質問に対しては順調に運営されており、利用者アンケートからも好評であると報告した。危機管理対策として学校の空き教室に災害用備蓄品を配置することについては、市全体の防災計画の中で判断が必要であり、要請があれば学校運営上支障がないことを検討の範囲として必要に応じた検討をする旨答弁した。その他耐震化の問題等あったが、教育委員会、総合教育会議の中で話をしている趣旨で答弁した。

質疑、意見等なし

(釜部長退室)

〈八市教委議第29号 平成29年度教育に関する事務執行状況の点検・評価報告書について〉

宮田教育政策課長

8月定例会後に2回開催した外部評価委員会において、外部評価委員からいただいた10事業に関する意見について説明する。外部評価委員は、中九州短期大学の西嶋准教授、地域婦人会の堀田会長、PTA連絡協議会の内木会長の3人である。

・氷川中学校負担金組合事業 現行のままでよい。進学する生徒がいれば継続すべき。

・公益財団法人八代市学校給食会運営補助金事業 施設の老朽化について課題として提案してもらいたい。

- ・学校・幼稚園支援職員配置事業 本を借りる数は、学校図書館支援員の運営によるところが大きいので、学校のニーズに応じて増員してほしい。
- ・語学指導外国青年招致事業 本場の発音を聞く機会を増やすため、ALTの増員、指導力向上が必要である。
- ・教育サポート事業 利用に偏りがあるので、改善を期待する。教育相談の数に驚いた。2名増員では足りない。
- ・中学校非構造部材耐震改修事業 今後の非構造部材の耐震改修についても早めに計画してほしい
- ・泉第八小学校教職員住宅新設事業 着工の遅れがあったものの立派な職員住宅ができた。
- ・学校・家庭・地域の連携協力推進事業 放課後児童クラブに移行できないか検討すべき。人材確保の課題を解決してほしい。
- ・公民館施設整備事業 コミュニティセンターの修理が遅れているようだ。早めの修繕を実施してもらいたい。
- ・博物館特別展覧会事業（秋季） 年代的に関心興味の偏りがあるのではないか。歴史的に価値が高い作品である。今後も子供から大人まで足を運べる企画にしてほしい。

これらは、8月定例会でいただいた意見を踏まえて検討していく。点検評価報告書は、12月市議会に議員に配付し、市のホームページにも公開する。

倉野教育委員

コミュニティセンターの修理が遅れている。コミュニティセンターの利用度・価値は校区ごとに違うのではないか。コミュニティセンターが各校区でどのように利用されているかを十分検討して、各校区に合う施設として充実させてもらいたい。

廣兼生涯学習課長

公民館からコミュニティセンターに移行し、現在は市民活動政策課が所管している。各校区によって課題はさまざまである。老朽化した施設が多数あるため、財源の中で検討しながら利用度の高いところから順番に整備を行っていた。そのまま市民活動政策課へ引き継いでいるため、今後は市民活動政策課で順番を付けて進めていく方向で検討してもらっている。

北岡教育長

所管は変わったが、教育委員会でこのような意見があったことを市民活動政策課に伝えてほしい。

【議案第29号 承認】

〈報告第16号 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について〉

渡邊首席審議員兼  
学校教育課長

小6、中3を対象に国語、算数で調査が行われた。小学校は、国語、算数ともに知識に関する問題の正答率は全国平均を上回ったが活用に関する問題はやや下回った。中学校は全ての項目で全国平均を下回った。

質問紙調査のうち、週に1回以上図書館に行く児童の割合は、小学校、中学校とも全国平均を大きく上回った。その他家庭や地域の学校教育への関心の高さ、協力体制については、全国平均を上回っているが家庭学習の内容や時間は下回っており、大きな課題があると考ええる。

調査結果から、学校と家庭が連携し、丁寧な指導が必要だと考える。また今後求められる資質能力を持った児童生徒の育成を目指し、授業改善が必要である。

北岡教育長

県の平均と比較すると小学校は若干マイナスポイントであるが、中学校に上がるとマイナスポイントが多くなるという結果をどう考えればいいのか。この小学生が中学校に上がると中学校の平均がプラスに転換するのか。それとも中学校でマイナスになるのは、中学生の学習に対する取り組み方が足りないのか。学校の授業に改善が必要なのか。どういう部分に手を付けていけばいいのか。

渡邊首席審議員兼  
学校教育課長

資質能力を伸ばす授業ではなく、講義形式の授業がいまだに残っていて中学校の授業改善が進んでいないこと、意識調査の結果から勉強時間が少ない、勉強の内容も十分でないなど家庭学習の取り組み方が他市町村に比べて課題が多いこと、県立中学校の生徒の得点は、八代市の得点を大きく超えているが、八代市の中学校の数値には含まないため、小学校から中学校にかけて母数が変わっていること、の3つの課題があると考ええる。

小嶋教育委員

小学校で全国平均よりもマイナスのところもある。小学校で勉強を頑張っていた子どもたちが県立中学に行ってしまうと、中学校の成績が落ちていると考えるなら、子どもたちに勉強をすることで得られるものや勉強したくなるような仕向け方が必要だ。

学校訪問で先生が用意したプリントに要点だけを書きこむという作業をしているのを見て、ノートが活用されていないと感じる。授業の目当てなど自分でノートに書くことで認識でき

と思う。

中学校の子どもたちの家庭学習が少ないのは、勉強が自分の将来にどう役立つのかをわからない子が多いからではないか。また、勉強よりも部活を頑張った方が大会等で結果が出やすく評価される場があるため、家庭学習から遠のいてしまうのではないか。子供たちに勉強をすることで人生がどう変わるかビジョンを持たせ、将来プラスになることを伝えることが大事であるが、講義型の授業では伝わらない。タブレットの使い方も気を付けなければ、板書がおろそかになったり、子供たちがノートに書くことがおろそかになったりすると思う。子供の立場に立って考える必要があると思う。

#### 倉野教育委員

教職にあった際小学校の学力が最下位だったときに、体力も最下位であったことから、体力も上げなければ学習能力の成果も上がらないのではと各学校で取り組んだことがある。学力を高めるために体力が関係しないのか検討してみる必要があると思う。また、家庭学習がうまくいっていないことに対する保護者の認識がどの程度なのかを各学校で分析する必要がある。

さらに、県立中学校に行った子どもたちは、各学校でリーダー的な役割を果たしており、全体の成績を引き上げることに影響があったと思う。各中学校にそういう子どもがいないため、次の子どもたちにリーダー性を育成することが大事ではないか。教職にあった際にいろいろな行事を子どもたちに担当させ、子供たちが自らやる機会を作った。追跡調査をしたが、かなり成績が上がった。学習というと1時間の授業をどうするかと考えると思うが、このようなやり方をしたときに全校生徒が少しずつ伸びる素地が培われていくと思う。

各学校が取り組んでいることによく速攻的なことを求められる。すごい先生が集まれば成績は上がるかもしれないが、子供が自分で学習するように仕向けることが大事であり、子どもに合った繊細な指導が必要であると考えます。

また、調査結果を見ると全体がそういう結果だと思われることが多いが、学校によっては成績が高いところもあると思う。そのため、各学校が学力向上のためにどう取り組んでいるか、どう反省しているかを学校教育課に提出してもらってそれに対して指導をしていくことが必要じゃないかと思う。

成績というと家庭学習をしているかどうかと考えることが多いが、家庭学習ではなく授業時間に理解することが重要だと思う。演習内容は同じであるから、子どもがどう取り組むように仕向けるか先生の気配り方が大きいと思う。家庭学習を何時

間やっても、何を勉強したらいいかわからなければ効果が出にくい。ここを先生たちが指導し、考えると、学力向上につながるのではないかと思う。

渡邊首席審議員兼  
学校教育課長

調査結果から気になることは、子どもたちのチャレンジする心、達成感、自己有用感が低いところである。また、学校のきまりを守っている子どもの割合が全国に比べて大きな課題がある。そのほかスマートフォンの所持率が高い、テレビ視聴時間が長いなど、回答状況から心の様子や家庭の環境が見えてくる。

八代には高等学校がたくさんあり、どこかには入学できるという甘えがあるため、夢を持たず、自分の今の勉強が将来どう役立っていくのか、勉強をどう役立てたいのか明確な気持ちを持たず、夢実現のための入口である高等学校へ向かう意欲が高くない子どもが多い。また、リーダーがいない影響については、影響があると思う。各学校は、リーダーが抜けて行った状況について10年前からわかっているため、毎年、次のリーダーを育てる大変な努力をしている。

子どもたちに学ぶ意味を考えさせ、自信をしっかりと持たせていくこと、規則正しい生活を身に付けていく教育の在り方が求められると思う。全国的には、家庭や地域と共同して取り組みを行っている学校は、学力が高いという面があるので、各学校意識を変えていくような指導が必要かと思う。

高嶋教育サポート  
センター所長

今、授業公開ということで、授業を見せ合って授業改善をしていこうという動きもある。自らやる機会を作ることにしては、夏のいきいき学習で生徒会活動について発表してもらったりもした。そういう取り組みを学校教育課長が言われたところに視点をもちながら、「先生たち、頑張ろう」という気持ちで取り組んでいきたいと思っている。

松永教育委員

体力と学力は並行すると思う。体力づくりのモデル校区において、休み時間はみんなで工夫して先生たちも一緒に考えながら遊ぶと体力もついてきて、学習の調査もしたがみんないい結果だった。

益城、阿蘇地域の全国学力・学習状況調査の結果が熊本地震前よりも下がったとの報道があったが、八代の場合はどうか。

渡邊首席審議員兼  
学校教育課長

八代については、影響が大きく反映しているとは感じていない。学校現場もそうではないかと思う。



松永教育委員

子どもたちも動揺しなかったし、先生たちも学校運営ができていたということだろう。

倉野教育委員

学力にしても生活関係にしても、直接指導する人のやり方ではないかと思うため、指導は担任なら担任と極端に絞り込むのがよいのではないか。八代市が学力を高める、体力も高く、生活面も問題ないという状況のために最終的な指導をする先生たちが基本の基本、見えない部分に子どもたちのために気付き、学習しているかどうか。先生たちがいかに細かく指導できるか、子どもがどう取り組むかが大事だと思う。子どもたちが自分で計画を立て、自分でやるという方向に持っていくことが重要だと思う。

北岡教育長

学力向上は八代市の最大の課題である。中学校での授業改善、家庭学習の不足、県立中の存在が挙げられた。

授業改善については、授業公開をし、どうアドバイスをしたらいいか、どう意見をいえばいいかということが大事である。また、そのアドバイス、意見をどう素直に受け止めるかで、先生たちが伸びていくと思う。先生たちが伸びていけば、子どもたちも伸びていくはずだ。

家庭学習の不足は難しいことだが、自分が伸びるためにいかに勉強をしないといけないか、何が大事かをわかることができれば、自分で考えていくことができるし、伸びていくことができると思う。どうすれば、子どもたちがそういう意識になれるか、そういう子どもを増やすことができるかを考えていかなければならない。

県立中の存在には変わらないため、委員からあったように次のリーダーをどう作るかを小学校のときから考えておかないといけないと思う。

体力と学力の関係については、学力を上げるためには体力だといわれていた校長先生がいた。ただ部活動をするのではなく、目標を持ち、それに向かって一生懸命することが必要で、結果が出なくても体力、集中力、自分で考える力がついている。体力が全てではないため、体力と学力をうまく結びつける指導が大事なのではと思う。

学力向上を各学校に言っているため、少しでも子どもたちが力をつけてくれれば。今後も教育委員の皆様方からも助言、アドバイスいただければありがたい。

渡邊首席審議員兼  
学校教育課長

授業公開、授業の流し方、校内研修などのシステムは大きく前進しており、先生たちの意識も変わってきている。八代スピリッツを掲げて挨拶、聞き方、揃え方も各学校で徹底して取り組み、いい状況になっている。全国学力・学習状況調査の結果は報告のとおりであったが、各学校の子供たちのいろんな面での伸びや活躍は以前にも増していると思う。先生たちは頑張っており、こどもたちのために頑張っている姿があるため、今日の意見をもとに各学校を応援しながら子供たちの伸びを支えていきたい。

#### 4. 連絡事項

教育政策課 学校給食研究協議会について

教育施設課 学校施設の工事関係について

生涯学習課 まなびフェスタ八代の開催について

博物館 秋季特別展覧会について

事務局 11月定例会日程確認 (11/15 10:00～)

総合教育会議日程確認 (11/29 10:00～)

#### 5. 会議録署名委員の指名

松永委員・小嶋委員

(午前11時40分 閉会)

平成 年 月 日

署名委員

---

---

記録者

---